

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱
工期	2024年4月1日 ~ 2025年3月31日		作成者	小瀬 裕之
作業名称	事故復旧作業 ボックスビーム端部取替工(夜間通行止)	作業手順書	作成年月日	令和5年9月12日
使用機械 使用設備	4tユニック、連絡車、バルーン車		改正年月日	
使用工具、機器	3.5mエアコンプレッサー、打込機(空圧式)、大ハンマー、ブレーカー(空圧式)、防護ネット、吊り具		現場責任者	
	ディスクグラインダー、締付道具(ラテツェット、メガネ、インパクト等)、掃除道具(ブロワー、ホウキ等)		協力会社	会社名 自車サイン
保護具	ヘルメット、安全靴、防護メガネ、マスク、防護手袋(刃物作業時は耐切削用)、視認性の良い作業着		作業順序	
材料	ボックスビーム、ボックスビーム支柱、アンカーボルト セメント類、砂、砕石 等			
免許・資格 等 (免)(技)(特)(準) の区別を記す	自動車運転免許証(大型もしくは中型) 特別教育:職長・振動工具取扱 技能講習:玉掛け・小型移動式クレーン、(必要に応じて)ガス溶接			
作業人員	作業責任者 1人、作業員 4人 合計 5名			
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)	周知会実施日		

1	準備作業
2	現地確認
3	ボックスビーム端部の撤去
4	ボックスビーム端部の設置
5	清掃・後片付け

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:あつたに発生しない (5年に1回程度)	○○	○△	○△	1:極めて小さい	関係者に対策の周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△○	△△	○×、△△、×△	2:かなり小さい	関係者に対策の指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×○	×△	△×、×△ ××	3:中程度 4:かなり大きい 5:極めて大きい	職長が確認 工事担当責任者が確認 十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知

作業項目 (誰が)	手順 主なステップ	急所 作業のポイント	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	レベル	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)
準備作業(全員)	朝礼・KYK 作業箇所確認 周辺安全確認 (埋設物・構造物)		健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認、入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷絡めの位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。工事車両がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。						
現場確認	作業箇所確認 周辺安全確認 (埋設物・構造物・雑草)								
ボックスビーム端部の撤去	破損したボックスビームと既設ボックスビームの連結ボルトを外す Coシールを研り、地面に埋まった端部を出す 取付ボルトを外し、端部を取り外す 発生材の写真を撮る	ボルトを取り外す	取り外したボルトを地面に置いたため、ボルトにつまづき転倒する	△	△	△△	3		取り外したボルトは入れ物(バケツ、土のう袋)にしっかりと入れる
ボックスビーム端部の設置	新しい材料を荷台から降ろし、材料検収の写真を撮る 新規のボックスビームと既設のボックスビームを連結ボルトで固定する	ユニックを使用し、新しい材料を荷台から降ろす	ユニックで吊り上げる際に操作をミスを起こし、玉掛け者と接触する。	△	×	△×	4		玉掛け者は玉掛け作業が終わったら荷から離れ、離れたことを操作者に伝える。操作者は玉掛け者が離れたことを確認し、操作レバーを確認しながら慎重に操作する
作業項目 (誰が)	手順 主なステップ	急所 作業のポイント	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	レベル	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)
ボックスビーム端部の設置	地中に埋まったアンカー支柱と新規のボックスビームを取付ボルトで固定する セメント類でCoシールを補修する。	セメント類を攪拌する	セメント類を攪拌する時に、目・口・手にセメント類が付着する	△	×	△×	4		防護メガネ、マスク、手袋など確実に着用していることを確認する。
後片付け(全員)	発生材の積み込み 清掃作業を行う 忘れ物がないか確認し離脱する。	吊り具を使用し、発生材を荷台に積み込む	吊り具にて発生材を吊る際に、吊り具が外れ荷が落下する	△	×	△×	4		使用前に吊り具の確認、吊る前に玉掛けの確認、吊った時に吊り荷の下に入らない。 工事車両を取外した場合は専用のケースに確実に格納し車内に保管する事